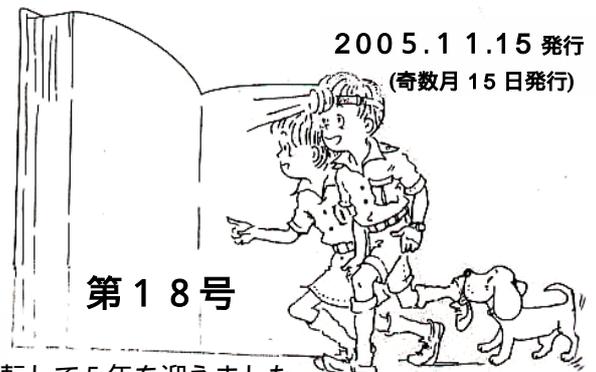


にのみやまちとしょかん 図書館だより



第18号

今年の4月で二宮町図書館が開館して30年、また11月で新図書館に移転して5年を迎えました。今号では主に30年間のあゆみを中心に、これまでの図書館の歴史を振り返りたいと思います。

特集

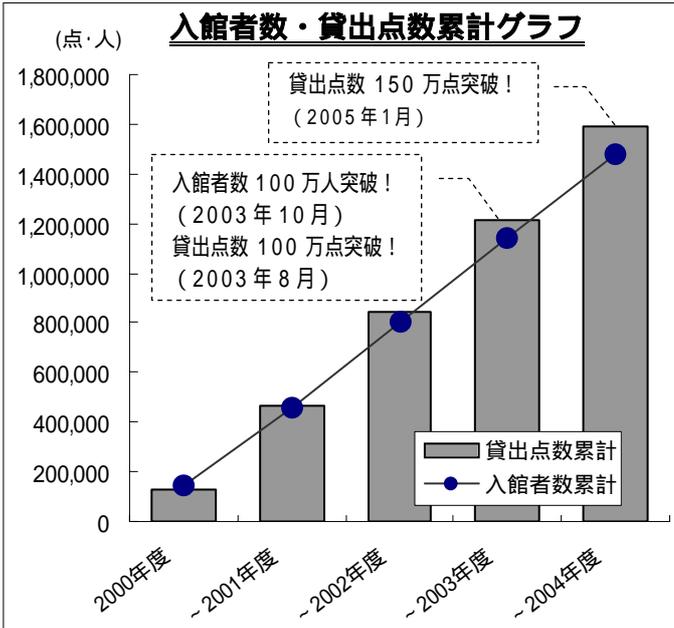
二宮町図書館30年のあゆみ

～ 二宮町図書館開館30周年を迎えて ～

二宮町図書館は昭和50年の開館以来30年間、常に「理想の図書館」を目指し、利用者の多様なニーズに応え、より多くの町民の皆様に親しまれる図書館となるよう、関係者一丸となって運営に携わってまいりました。

情報化社会の進展とともに、図書館のIT化が求められ、図書館に期待されるサービスはより多様化しています。今年は新図書館として生まれ変わってから5周年を迎え、インターネットによる蔵書公開等の整備など、更なる図書館サービスの充実を図ってまいります。図書館員一同、30年間の足跡を振り返り、新たな決意で二宮町らしい「魅力」ある図書館を築き上げたいと思います。今後も利用者の皆様の忌たんのないご意見、ご協力をお願い申し上げます。

館長 池田茂男



図書館開館30周年記念行事が行われました

地域資料展示「こずみれい 小隅黎 (しばのたくみ 柴野拓美) 氏と『うちゅうじん 宇宙塵』 - 日本SFの軌跡」

2005年9月13日(火)～19日(月) / ラディアン 展示ギャラリーにて

この展示は、二宮町在住でSF作家・翻訳家柴野拓美氏の業績の紹介、SF同人誌『宇宙塵』の活動と日本のSFについて町民の方々に広くご紹介をする目的で開催しました。

展示内容は、柴野氏からお借りした貴重な資料(『宇宙塵』のバックナンバー、ご著書、新聞等)や著書特別コレクション、図書館所蔵のSF関連図書等です。開催期間中は450名の来場者があり、来場された方からはアンケートで「実際に手に取れる展示でよかった」「SFの貴重な資料を見ることができた」等の感想をいただきました。

また、柴野氏も期間中毎日、会場にお見えになり、来場者とお話されたり説明をしてくださいました。



図書館講演会「『宇宙塵』の軌跡～日本SFと柴野拓美氏」

2005年9月18日(日) / ラディアン ミーティングルーム2にて

講師：SF研究者 まきしんじ 牧真司氏

講演では、日本SFの歴史や、柴野拓美氏の業績、『宇宙塵』に関わった作家たちの紹介などを、様々なエピソードを交えて語っていただきました。町民の皆さんをはじめ、近隣市町や県外からも多くの方が参加され、牧氏の講演に熱心に耳を傾けていらっしゃいました。

当初はSF作家の よこたしげんや 横田順彌氏を講師にお招きしておりましたが、直前に横田氏が体調を崩されたため、急遽、牧氏に講師をお願いしました。



年表
～図書館のあゆみ～

59 神奈川県立図書館
自動車文庫サービス開始

61 県立図書館より
青少年文庫の指定を受ける

63 公民館図書室開室
貸出：2冊、10日間
休館日：祝日

75.4.1 二宮町図書館開館
貸出：2冊、2週間
(子供1週間)
休館日：火曜、祝日等



開館当初の旧図書館外観
(役場前の現教育委員会の建物)
当時は1階+中2階でした

79 県立図書館の協力車、巡回開始



懐かしい(?)旧図書館
カウンターの様子

82.4 2階部分増設オープン

84.4 地域文庫に配本開始
(県立図書館自動車文庫撤廃により引継ぎ)



82.9 (92.9閉館) 山西分館開館
山西プール休業中を利用し、9月
から翌6月の週3日開館
('88より週2日に変更)

90.6 自動車文庫サービス開始
(富士見が丘巡回ポイント：一丁目公会堂、二丁目駐車場、三丁目公会堂)



92.11 3市2町(平塚・秦野・伊勢原・大磯・二宮)広域利用サービス開始

94.4 休館日火曜から月曜に変更 土曜日午前閉館から全日開館へ

96.1 移動図書館車(ワクワクかな号)運行開始



98.1 2町(二宮・中井)広域利用サービス開始

00.2 新図書館準備のため一時閉館 社会福祉センター3階にて仮図書館開設(5月～8月)

00.11.3 二宮町生涯学習センター内に移転、開館
貸出：1人5冊2週間
(AV資料3点1週間)
休館日：月曜、館内整理日等
開館時間：9:30～17:00
(金曜のみ19:00まで)

02.4 開館時間、平日は19時までに変更

03.5 図書館だより隔月発行開始



公民館図書室時代					旧図書館時代															現図書館時代													
昭和35	S40	S45	S50	S55	S60	平成元年 H2					H7					H12					H17												
1960	1965	1970	1975	76	77	78	79	1980	81	82	83	84	1985	86	87	88	89	1990	91	92	93	94	1995	96	97	98	99	2000	01	02	03	04	2005
'60年度 蔵書冊数：約2,000冊 ◎利用者数：450人/月			'75年度 蔵書冊数：約8,000冊 ◎利用者数：約1,900人/月			'80年度 蔵書冊数：約13,000冊 ◎利用者数：約1,800人/月			'85年度 蔵書冊数：約24,000冊 ◎利用者数：約2,000人/月			'90年度 蔵書冊数：約36,000冊 ◎利用者数：約1,900人/月			'95年度 蔵書冊数：約71,000冊 ◎利用者数：約2,400人/月			'00年度 蔵書冊数：約122,000冊 ◎利用者数：約12,000人/月			'03年度 蔵書冊数：約152,000冊 ◎利用者数：約28,000人/月												

63 筑摩書房社長古田氏より
図書800冊の寄贈



70 古田氏より図書
500冊の寄贈

65.8 読書会第1回実施

76 (99終了) 読書感想文コンクール
第1回開催

85.10 開館10周年「図書館
利用状況等に関する
調査」実施
報告書刊行(86.2)

90.5 「世界三大絵本
賞作品展示会」

91.5 「『画本宮沢賢治』
(画:小林敏也)原画展」
講師：相沢るつ子氏

91.8 なつやすみこども講座
「手作り紙芝居を作ろう」
講師：相沢るつ子氏

95.3 「川柳入門講座」
講師：関水華氏

96.3 おはなし講座「児童
文学作家講演会」
講師：宮川ひろ氏

97.10 「としょかん講座」開催
(3回シリーズ)

01.3 児童文学作家講演会
「もう一度愛されたい」
講師：上條さなえ氏

02.4 新館開館1周年記念講演
「暮らしの中で考える
私たち一人ひとりと
図書館」
講師：竹内慈氏

05.9 30周年記念行事
柴野拓美氏関連展示、
講演

旧図書館2階の学習室は、いろいろな催し物の会場として利用されていました

なつやすみこども講座
世界三大絵本賞作品展示会

91 におのみやおはなし会による
「おはなし会」開始
ちいちゃいおはなし会は97から

92.11 「俳句入門講座」
講師：吉川翠風氏

この他、わらべうたであそぼう!や映画会などの行事は現在も継続して行っています

二宮ゆかりの人物

筑摩書房創業者、古田晁氏は1963年(昭和38年)住居を東京都千代田区谷から二宮へと移す際に同社の多数の文学全集や出版物を二宮町に寄贈されました。

古田氏は1906年(明治39年)1月13日長野県塩尻市(旧筑摩地村)生まれ。松本中学校入学時に『安曇野』で著名な白井吉見氏と出会い、以後五十数年「運命相互体」の関係となり生涯深く関わっていきます。

文芸出版で名を成す「筑摩書房」は昭和15年古田氏により創業さ

『古田晁伝説』

ふるた あきら
古田 晁 (筑摩書房創業者)

れ、社名は出身地にちなんで白井氏が命名しました。同郷の作家唐木順三氏も創業からかわり、筑摩書房はこの3人の共同体として始まったのでした。「損をしてもいいから良い本を出したい」という理念は生涯変わることなく文学全集の筑摩書房として定着しています。

古田氏は思いやりにみちたやさしいひととなりで、無類の人間好き。作家の石川淳氏は古田氏の話が出るたびに「古田君はいい人だよ。あんないい奴はいない」と口癖のように言っていたそうです。多くの人に慕われ、海の見える見晴らしのよいお宅にはたくさんの文学者が訪れ、ご家族に歓待されたのでは...と想像されます。

古田氏は1973年(昭和48年)10月30日心筋梗塞の

このコーナーは、二宮にゆかりのある人物や文学作品等をご紹介します。ここで紹介された人物や作品関連の情報がありましたら、図書館までお寄せください。

ため急逝し、人々に衝撃を与えました。11月2日の社葬では多くの文化人たちが参集し、切々たるお別れの言葉には感謝の気持ちがあふれていました。

参考資料
『古田晁伝説』(塩沢実信著/河出書房新社/2003/289.1 7巻)
『出版社大全』(塩沢実信著/論創社/2003/023.1 7)
『インタビュー日本の出版社』(小林二郎著/小学館/1998/023.1 1)
『反時代的思索者-唐木順三とその周辺-』(粕谷一希著/藤原書店/2005/910.2 1)
『晴のち曇、所により大雨-回想の石川淳-』(石川浩著/筑摩書房/1993/910.2 1)
『業務日誌余白-わが出版販売の五十年-』(松本昇平著/新文化通信社/1981/N A2)
『広報にのみや縮刷版 創刊号-第200号(昭和30年9月-54年8月)』(二宮町企画課企画係編/1980/N F5)
『二宮町近代史話』(二宮町教育委員会編/1985/N B6)

展示テーブルから

11月の展示テーマ：ベストリーダー集合!～5年間の記録から～

11月の展示テーブルは、新図書館開館から今年9月までのベストリーダー(貸出回数が多い資料ランキング)をもとに図書を集めました。各年度の総合10位までの図書と、分類別の集計でそれぞれの貸出回数2位まで図書を集めています。集計したリストを見てみると「そういえばこんな本が流行っていたなあ」と思い出すものもあり、5年間という月日の流れも感じられます。

展示テーブルには、年度別のベストリーダー一覧も掲示していますので、ぜひご覧ください。名前を聞いたことのある本や、手に取ったことのある本がきっとあると思います。



お知らせ・お願い

特別館内整理（蔵書点検）が終了しました

休館中はご不便をおかけしました。ご協力ありがとうございました。

2階の地域資料コーナーをリニューアルしました(10月1日～)

二宮町行政資料コーナー・二宮ゆかりのコーナー・特別コレクション展示ケースを設置しました。ぜひご覧ください。

AV資料を移動しました

DVD資料の増加にともないDVDの棚スペースを広くしました。

年末年始休館のお知らせ

12月26日(月)～1月4日(水)まで休館させていただきます。
休館中の返却ポストへの返却はご遠慮ください。

行事

くわしくはお問い合わせください。

ちいちゃいおはなし会

11月 9日(水)
12月 14日(水)
1月 18日(水)

おまけのおはなし会 おはなし会とおりがみあそび

11月 19日(土)
12月 17日(土)
1月 21日(土)

わらべうたであそぼう!

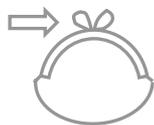
11月 18日(金)
12月 16日(金)
1月 20日(金)

雑誌の リサイクルコーナー

11月 27日(日)
12月 25日(日)
1月 22日(日)

【ふう～ん】

がまぐちのパチンと留める丸い金属を「らっきょう玉」という



展示テーマ

10月 | 一般 / 『スローライフを楽しもう』
| 児童 / 『あき』
| AV / 『平成16年度CD貸出回数TOP10』

11月 | 一般 / 『ベストリーダー集合!～5年間の記録から～』
| 児童 / 『平和のために』

特設展示

10月・・・『早船ちよさんをしのんで』(児童)

利用者の声 Q&A

Q:「図書館でインターネットは使えますか?」

A: 2階の調査相談カウンター横に、インターネットが利用できるパソコンを、近日に1台設置する予定です。ご利用に際しては下記の通りです。

原則として小学生以上の方を対象とします。ただし、小学校低学年の方の利用は保護者同伴となります。

調査研究目的の利用に限ります。ゲームやメール、ワープロソフト等は使えません。

申し込み制で時間制限があります。

フィルターソフトを入れてありますので

一部制限がかかり閲覧できないサイトがあります。ご了承ください。

くわしくは2階カウンターでおたずねください。

ベストオーダー

2005年 9月～10月

この期間に予約が多かった本です

【児童書】

- 第1位 ダレン・シャン 12 運命の息子
- 第2位 ハッピーバースデー - 命かがやく瞬間 -
" デモナータ 1幕 ロード・ロス
- " ダレン・シャン 10 精霊の湖
- " ダレン・シャン 11 闇の帝王
- 第3位 チョコレート工場の秘密
- " デルトラ・クエスト 3 死の島
- " デルトラ・クエスト 4 最後の歌姫

【一般書】

- 第1位 ダ・ヴィンチ・コード 上・下 / ダン・ブラウン
- 第2位 風の盆幻想 / 内田康夫
- " その日のまえに / 重松清
- " 容疑者X(イクス)の献身 / 東野圭吾
- " 東京奇譚集 / 村上春樹
- 第3位 信長の棺 / 加藤広

ひとつだけ ~編集後記にかえて

日本の文化ともいえる美の様式の一つに“余白の美”というものがある。文芸や美術に限らず、ふだんの生活空間や食事の盛り付けにおいても、余白の使い方に洗練された美しさを感じる。逆にぎりぎりいっぱいにつめこんであるものを目にする、気ぜわしい心持ちになる。余白がないものには、余裕を感じられないからだろう。何でも入る限りつめこみたくなるのも人情だが、余白を残せる余裕というものは常に持っていたいものである。